

# 令和8年度学校自己評価システムシート ( 県立三郷工業技術高等学校 )

目指す学校像	「ものづくりの精神」に基づき、豊かな人間性を育成するとともに、学力向上をとおり、生徒の自信を高め、地域に貢献できる技術者を育成する
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>基礎学力や専門知識・技術の習得を重視し、学習指導を充実させる</li> <li>生徒指導及び進路指導の充実を図り、社会人基礎力を身につけさせる</li> <li>開かれた学校づくりに取り組み、工業高校の魅力を積極的に発信する</li> </ol>
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	<b>【現状】</b> ・学習指導の充実のために、生徒の実態に応じた授業実践が進み、生徒の授業への積極的な参加が見られる。 ・全学年で端末が導入されている。 <b>【課題】</b> 以下の課題に取り組む必要がある。 ・学習習慣を身に付け、基礎学力の向上を図る必要がある。専門知識・技術の習得へ導く。 ・全学年で導入している端末を積極的に活用し教員相互の授業見学や教材研究によって授業改善と質を高める。	①生徒の主体的学習態度の育成により、基礎学力及び専門的知識の向上を図る。 ②全教職員が授業改善を意識するとともに、端末を活用した学習指導を充実させる。	①朝学習等の計画的実施により学習習慣の充実を図る。 ②基礎学力診断テスト等を活用して個に応じた指導の充実を図る。	①授業以外の学習時間 ②学習支援の実施状況及び資格・検定試験の受験状況 ①授業観察、研究授業、公開授業等の実施状況 ②端末の活用状況		
2	<b>【現状】</b> ・全教職員の共通理解のもと、一丸となった生徒指導が行われ、大きな問題行動は減少傾向にある。 ・進路指導は充実しており、生徒の進路実現に向けた取組が進んでいる。 <b>【課題】</b> 以下の課題に取り組む必要がある。 ・社会人基礎力の向上のために、生徒の主体的な学びを促進し、変化に適應できる人材育成を強化する。 ・生徒会活動、部活動、学校行事に主体的に取り組ませる工夫を検討する。	①社会人基礎力の育成を目指し、主体的な学びにつながる教育活動を実施する。 ②生徒会活動、部活動、学校行事を活性化させ、豊かな人間性を養う。	①教育活動において、企業等の外部講師を積極的に活用する。また、積極的に校外での教育活動を実施する。 ②対話を通して基本的な生活習慣を確立させる。また、進路支援ツールを活用し、進路希望の実現を図る。	①外部連携及び校外での教育活動の実施状況 ②遅刻者数及び年度末の進路結果 ①部活動参加率と活動実績 ②生徒会や各委員会の活動状況		
3	<b>【現状】</b> 本校の魅力を十分に発信できていない状況であり、募集定員を満たしていない学科が多い。 <b>【課題】</b> 以下の課題に取り組む必要がある。 ・本校の特色・魅力・成果を効果的に情報発信し、志願者増加につなげる。 ・積極的な外部連携を通して、開かれた学校づくりを推進し、地域との交流充実を進める。	①迅速な情報発信と丁寧な対応により、保護者を含む県民からの信頼を高める。 ②企業や地域、小中学校、各種機関等と連携強化する。	①本校の特色・魅力・成果について積極的に情報発信し、生徒募集につなげる。 ②各種説明会や学校見学会、出前授業、体験入学等を通しPR活動を実施する。	①HPの更新回数及び閲覧数 ②PR活動の実施状況 ①コンソーシアムの設置及び運営 ②地域及び企業連携の実施状況		

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	